



スリーハート レポート

生活支援コーディネーターが

本宮の  を紹介します!



生活支援コーディネーター
根本 光洋です



新型コロナウイルスは市内各地の`ふれあいサロン`にも大きな影響を与えています。開催を自粛するサロンも多い中、住民みんなで知恵を出し合い、なんとか集いの場を早急に復活したいと、新たな形で再開したサロンもあります。今回は 糠沢5区の`ご近所サロン`の取り組みをレポートします。



※ 写真を撮るときだけは、マスクをはずしてもらいました。



おしゃべりの花が咲きました

「3密にならない方法で何とか集まれないだろうか…」
糠沢5区サロンの役員で何度か相談したところ
「住民に協力をあおぎ、民家の車庫や軒下を借りて集落ごとに、ごく少人数で集まる方法はどうかだろう」という案が出ました。
その後、運営委員会の了承を得られたので早速、道路に面した家の屋主に声をかけると
みなさん、「ころよ〜OK!」



縁側でのお茶飲み会のような`ご近所サロン`を始めよう!



「久しぶらない」とニコニコ笑顔♪



畑仕事の途中でひと休み

7月から、毎週水曜日の夕方1時
間と時間を決めて「マスク着用」と
「会場に着いたら、まず消毒!」を約
束ごととして、民家の軒下での
`ご近所サロン`が始まりました。



ご近所サロン推進者

ただす
安藤 斎さん

「昔、縁側で日常的にやっていたお茶飲み会の雰囲気です」



糠沢5区サロン代表

そうえい
武田 宗英さん

「仲間の協力があってこそ!心強いです」

「どこか行っても、消毒すんのが習慣になったよない」と、笑い合っているところに、農作業の手を休めて、長靴のまま一服しに立寄り、自然に話の輪に入っていきます。
「近所で靴をはいたまま、短時間の集まりは、介護で長時間家を空けられない方や、短い距離なら手押し車で来られる方も参加しやすい。また学校帰りの児童生徒の見守りもできますよ」と、推進者の安藤さん。
好評につき、しばらく継続される屋外での`ご近所サロン`をこれからも応援していきます。